

TOM

Introduction

吹奏楽をもっと知りたい。
学びたい。

そんな皆さんの情熱に
応える新専攻が 2019
年 4 月、東京音楽大学
に開設されました。

ここで待つのは、楽しい
だけにとどまらないアカ
デミックで体系的な音楽
の学び。

吹奏楽と真剣に向き合い、
吹奏楽をとおして成長し、
“吹奏楽のプロフェッショ
ナル”を目指す4年間を
過ごしませんか？

吹奏楽を
本気で学ぼう！

吹奏楽の、
その先へ...

日程	科目(A0入試は④と⑤のみ)
● A0入試 9月・11月	①外国語(以下より選択) ・大学入試センター試験 外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択) ・本学独自の試験(英語) ・資格試験 資格試験選択者は出願時に証明書の原本を1種類提出すること。最低基準スコアは以下の通り。 実用英語技能検定試験準2級以上、IELTS(Academic) 4.5以上、TEAP(Reading/Listening) 100以上、 TOEFL iBT® 50以上、TOEIC® L&R 400点以上(公開テストのみ。IPテストは対象外) ※B日程は調査書の評定を利用する。
● 一般入試 A 日程 2月 B 日程 3月	②楽典 ③選択科目(以下の課題の(A)～(D)より1つを選択) (A)新曲視唱 (B)簡単な初見演奏 (C)聴音 (D)ピアノ副科 ④面接および口述試問 ⑤専攻実技(フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、 トロンボーン、バス・トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ティンパニ、鍵盤打楽器、 小太鼓、コントラバス、ハープより選択) ※いずれの楽器もどの特殊管でも可

※具体的な試験日、試験科目の詳細は、「入学試験科目と課題曲」(6月発表予定)でご確認ください。

FAQ

Q1 器楽専攻(管打楽器)とは
何が違いますか？

器楽専攻(管打楽器)は「演奏のエキスパートの育成」を目標として、自身の専門楽器について、独奏、アンサンブル、管弦楽、吹奏楽などでの演奏法を主に学びます。それに対し吹奏楽アカデミー専攻は「吹奏楽全般を幅広く学んだプロフェッショナルの育成」を目標として、楽器の個人レッスンのほか、自身の専門以外の楽器について、合奏の指導法、楽団の運営法なども学びます。吹奏楽史やマーチングは吹奏楽アカデミー専攻だけの授業です。合奏は、器楽専攻(管打楽器)では学生だけで楽団を構成するのに対し、吹奏楽アカデミー専攻では学生と講師と一緒に演奏を行います。なお、管弦楽の授業は器楽専攻(管打楽器)のみです。

Q2 楽器の実技は
どれほど重視されますか？

必修科目に合奏形式の授業がありますので、課題を演奏する能力が必要となります。その目安は、「入学試験科目と課題曲」(6月発表予定)に掲載される各楽器の入試課題曲を参考にしてください。

Q3 演奏会はありますか？

年に2回の演奏会を予定しています。しばらくは学内での開催ですが、皆さんが在学中には、学外での実施も想定しています。また、将来的にはインターネット上での演奏動画の配信、東京音楽大学主催イベントへの出演、といった活動も考えています。なお、器楽専攻(管打楽器)の学生によるシンフォニック ウインド アンサンブルとは別活動となります。

Q4 大学院への進学は
できますか？

学部での学習内容に応じ、大学院の関連する研究領域に進学することができます。

Q5 バンドディレクションの授業は
どのようなことをするのですか？

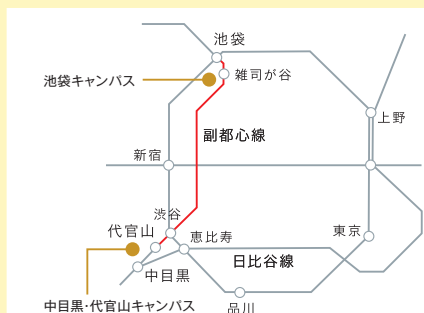
基礎合奏や楽曲の指導法、中学生や高校生・社会人など世代別の楽団の運営方法、合奏で使用する機器の操作方法や活用術、さらには著作権など吹奏楽の指導に必要とされる知識を4年間で幅広く学びます。講師には学外からも実際に現場で活躍しているさまざまな方を招き、特定の方法論にとらわれず、多様なアプローチに触れていきます。また、4年次には実際にバンドを指揮して、合奏の組み立てや言葉遣いなども学びます。

キャンパス情報

中目黒・代官山キャンパス
(学校法人本部)
〒153-8622
東京都目黒区上目黒 1-9-1
Tel. 03-6455-2700
Fax.03-6455-2770

池袋キャンパス
〒171-8540
東京都豊島区南池袋 3-4-5
Tel. 03-3982-3186
Fax.03-3982-2883

最新情報はWEBで⇒ <http://www.tokyo-ondai.ac.jp/>



吹奏楽アカデミー 4つの特色

1 “吹奏楽のすべて”を学べる授業です。

吹奏楽とより深く、アカデミックに関わるためのカリキュラム。音楽家としての基礎教育をはじめ、専門楽器以外についての知識、合奏指導法、作編曲法、歴史や理論など、「吹奏楽とは何か」を、多角的に学びます。さらにポップスやジャーナリズム、マーチングなど選択必修科目・選択科目も充実。一人ひとりの関心に合わせた専門教育を行います。

3 卒業後の進路は現場へ直結します。

4年間、吹奏楽をみっちり学んだあなたは、いわば「吹奏楽のプロ」。近年、吹奏楽はさまざまな局面で活用されており、卒業後は多方面での活躍が期待されます。具体的には学校の部活動指導者や外部講師、コミュニティ楽団の指導者など吹奏楽の指導者としての進路を想定。さらに指導者としての資質を身につけることが、メディア関連・音楽関連企業だけでなく、一般企業での活躍にもつながります。

卒業後に想定される進路

吹奏楽指導者 講師 吹奏楽の演奏家 マーチング指導者
吹奏楽の作編曲家 吹奏楽ライター 音楽マネジメント
公務員 音楽出版社や楽器店への就職 一般企業への就職 etc…
※就職課程申請中

2 第一線で活躍する教授陣が指導します。

吹奏楽の専門教育をともにするのは、東京音楽大学だからこそ実現できる一流の教授陣。第一線で活躍する経験豊富なプロたちが、現場とつながった実践的な指導を行います。各専門楽器についてはもちろん、指揮法、作曲、マーチングなど、総合的なテーマについても教授が指導。さらに実際の現場に出て学ぶワークショップの場も用意。実技だけではなく、体系的な吹奏楽を専門家に学べる貴重な場です。

4 もちろん、合奏の楽しさも存分に!

吹奏楽の最大の魅力は、やはり合奏。吹奏楽アカデミーでは、講師も演奏に加わって吹奏楽団を編成し、バンドディレクション、吹奏楽合奏の2つの授業で合奏の場を用意します。さらにプロの指揮者のもと、年2回の演奏会も開催予定。演奏会のマネジメントや楽団の運営などを通じ、社会性も養います。



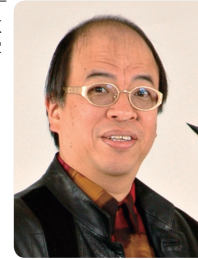
吹奏楽アカデミー専攻 カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専門楽器実技I	専門楽器実技II	専門楽器実技III	専門楽器実技IV
	バンドディレクションI	バンドディレクションII	バンドディレクションIII	バンドディレクションIV
	楽器別指導法	吹奏楽史	作曲法	吹奏楽作編曲概論
	ピアノ(副科)I			
		指揮法I	指揮法II	
選択必修科目	ソルフェージュI	ソルフェージュII		
	和声I	和声II		
	西洋音楽史概論1・2			
	吹奏楽合奏I	吹奏楽合奏II	吹奏楽合奏III	吹奏楽合奏IV
	メディアリテラシーI	メディアリテラシーII		
			スコアリーディングI	スコアリーディングII
			指揮法演習I	指揮法演習II
			吹奏楽ポップス概論	吹奏楽ポップス演習
			吹奏楽作編曲演習I	吹奏楽作編曲演習II
			吹奏楽ジャーナリズム概論	吹奏楽ジャーナリズム演習
選択科目	マーチング概論I	マーチング概論II	マーチング演習I	マーチング演習II
			卒業演奏/卒業制作	
		管打アンサンブルI・II	管打アンサンブルIII・IV	
		ワークショップI	ワークショップII	
		ピアノ(副科)II	ピアノ(副科)III	

その他、他専攻との共通の選択科目、教養科目、外国語科目、交流大学単位互換科目。

経験豊富な教授 & 講師陣

教授
小串 俊寿
〔サクソフォーン〕



教授
外園 祥一郎
〔ユーフォニアム〕



兼任教授
久保 昌一
〔打楽器〕



特任教授
下野 竜也
〔指揮〕



©Naoya Yamaguchi

客員教授
天野 正道
〔作曲〕



客員教授
星出 尚志
〔作曲/ポップス〕



客員教授
井芹 康貴
〔マーチング〕



准教授
中橋 愛生
〔作曲/理論〕



講師
山内 豊瑞
〔フルート〕



講師
堀口 憲一
〔オーボエ〕



講師
中川 日出鷹
〔ファゴット〕



講師
近藤 薫
〔クラリネット〕



講師
原 浩介
〔クラリネット〕



講師
蓼沼 雅紀
〔サクソフォーン〕



講師
荻原 明
〔トランペット〕



講師
石川 善男
〔ホルン〕



講師
渡辺 善行
〔トロンボーン〕



講師
川野 聡子
〔ユーフォニアム〕



講師
木村 圭太
〔チューバ〕



講師
藤井 将矢
〔コントラバス〕



講師
坂本 雄希
〔打楽器〕



講師
平子 ひさえ
〔打楽器〕



講師
松下 倫士
〔作曲/スコアリーディング〕



講師
近藤 隆史
〔情報・コンピュータミュージック〕

